

教科	美術	科目	美術	単位	1	年次	2年次
使用教科書	美術2・3(開隆堂)						
副教材	なし						

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

授業説明は主に、スライド、プリント、教科書を用います。プリントを整理するファイル等を各自、用意してください。
評価は、表現に関しては完成作品に至るまでの知識、技術、プロセス、試行錯誤や積極的な取り組みも評価します。鑑賞においても知識理解を深め、ものの見方を広

2. 学習の到達目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 主 旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の動きなどについて独創的・想像的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。
評 価 方 法	発言の内容・ワークシート・制作途中の作品・ペーパーテスト・アイデアスケッチ・完成作品	上記+活動の様子	学んだことを粘り強く取り組もうとしているか。授業中の発言・行動観察・ワークシートやアイデアスケッチ等における記述。また、生徒による自己評価や相互評価等の状況を鑑みて評価材料とする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
4~3	人物クロッキー	年間を通して毎授業、人物クロッキーを行う。対象をよく観察し、短い時間で形をとらえて描く。	○		○	a.短時間でモデルの姿形を捉え、表現方法を追求して描くことができる。 c.クロッキーを通して描くことの喜びを味わい主体的に取り組む態度、それらの成長を評価。	クロッキーブック・クロッキーの取り組み
4	ゲルニカと鑑賞	ピカソの作品を通して鑑賞の授業を行う。代表作でもあるゲルニカを取り上げ、ピカソが作品を通して伝えたいメッセージは何だったのかを考える。	○	○	○	a.ゲルニカが描かれた背景や造形表現について理解する。 b.ピカソの表現の意図や工夫を考え、作品の見方や感じ方を深める。 c.平和や命の尊さについて関心を持ち、主体的に鑑賞する。	授業プリント・活動の様子
5	キュビズムに挑戦	ピカソの生み出したキュビズムという技法を理解し、自分の顔をキュビズムで表現する。	○	○		a.表現方法の特性から制作の順序などを総合的に考えながら、見直しをもって表す。 b.キュビズムという技法を通して自分の顔を描く。創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。	授業プリント・プロセス・活動の様子
6	私を見つめる	生徒それぞれが今、伝えたいメッセージを色と形で表現する。 そして金剛と人との関わりについて歴史、文化的視点から素材の持つ特性を理解する。	○	○	○	a.形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解する。 b.自分自身を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する。 c.抽象表現について関心を持ち、主体的に表現に取り組む。	プロセス・活動の様子・作品
7	誰でもピカソ	ピカソの生み出したキュビズムという技法で自画像を制作する。自由な発想で表現する。	○	○	○	a.キュビズムを理解し、自分なりに表現方法を工夫し、創造的に表す。 b.キュビズムや画面構成を基に、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練る。 c.主体的に制作活動に取り組み創造活動の喜びを味わう。	ワークシート・プロセス・活動の様子・ペーパーテスト・作品
8							
9	身近にある金属	身近にある美しい金属の造形物にはどんなものがあるか、研究発表する。 そして金属と人との関わりについて歴史、文化的視点から素材の持つ特性を理解する。	○	○	○	a.人と鉄の歴史を理解し、鉄による造形物が人の感情にもたらす効果を理解する。 b.発表方法の構成、まとめ方などの伝える目的や機能を考え、構想を練る。 c.主体的に発表活動に取り組みさまざまな感じ方や考え方の多様性を知る。	授業プリント・活動の様子

10	はりがねアート	鉄についてさまざまな視点から学ぶ。それぞれ独自の想像力で針金を用いて自由に造形表現する。	○	○	○	a.素材の特性を基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解し、表現方法を追求し、想像的に表す。 b.素材の特性を深く見詰め、想像的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 c.主体的に制作活動に取り組み創造活動の喜びを味わう。	ワークシート・プロセス・活動の様子・作 パーテスト
11	場と表現	自分たちが表現した針金作品をどこに展示したら作品の意図がより伝わるか、環境、社会との関わりなどから構想を練る。	○	○		a.場によって変わる作品の見え方を考慮するとともに、それらが感情にもたらす効果などを理解する。 b.伝える目的や条件を基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。	授業プリント・プロセス・活動の様子
12	作品映えするショット	自分たちが表現した針金作品を実際の学校空間で撮影する。	○		○	a.カメラの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。 c.主体的に制作活動に取り組み創造活動の喜びを味わう。	ワークシート・プロセス・活動の様子・作 品
1	型から生まれる形	日本における伝統的な美術や工芸の中で多く用いられてきた型の造形を鑑賞し、オリジナルな型を作成する。	○	○	○	a.材料や用具の特性を理解し、型を使ってつくる方法を工夫する。 b.同じ形ができることから発想し、生活に生かす作品を構想する。 c.型を使った工芸作品に関心をもち、主体的に取り組む。	ワークシート・プロセス・活動の様子・作 品
2	お札の肖像画	日本や諸外国のお札に使われている肖像画を取り上げ、それらが選ばれた文化的背景、歴史的背景を考える。自分が日本のお札の肖像画を選ぶ立場になって、デザインを考案する。	○	○	○	a.お札が社会の中でどのような特性があるのか理解する。 b.日本の歴史上の人物肖像画を取り上げ、目的、機能にあった表現の構想を練る。 c.型を使った工芸作品に関心をもち、主体的に取り組む。	授業プリント・活動の 様子
3	お札アート	日本のお札を取り上げ、そのデザイン性の高さを知る。またお札の肖像画は日本国民が世界に誇れる人物を選んでいことを踏まえ、独自のお札のデザインを考案する。	○	○	○	a.お札のデザインや描き方を工夫する。 b.目的・機能に応じた表現の吟味。作品をよりよくなるための思考、判断。 c.主体的に制作活動に取り組み創造活動の喜びを味わう。	ワークシート・プロセス・活動の様子・作 パーテスト

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材で全ての観点について評価することとなるが、学習内容・小単元の各項目において重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点についてを付けている。